

# 令和2年度活動報告



令和2年9月 札幌市立澄川中学校での出前授業より

林野庁 北海道森林管理局

石狩地域森林ふれあい推進センター

石狩地域森林ふれあい推進センターは、豊富な森林資源と多様な森林景観に恵まれた山岳林等にある定山溪国有林、都市近郊の丘陵森林である野幌国有林を主たるフィールドとして活動しています。

札幌市内を流れる豊平川の上流・源流部の定山溪国有林は、札幌市の「水源の森」として重要な役割を果たしています。また、森林環境学習の場として利用する等、市民とのかかわりが深い地域になっています。

「水源の森」に植える苗木は、市民の皆さんで作製していただき、水源の森と札幌市のおいしい水との関わりを知っていただくことを目的としたイベント「札幌水源の森づくり」を開催しています。

札幌市立定山溪小学校・中学校では、定山溪の森林をフィールドにした植林活動や環境保全活動等を通して「地域のもりから学ぶ森林づくり」に取り組んでいます。

更に、平成16年9月に発生した台風により、約77haにおよぶ風倒被害を受けた野幌森林公園において「100年前の原始性が感じられる自然林」を目指した森林づくり「野幌森林再生プロジェクト」を策定し、市民の皆さんと協働・連携した取り組み（「団体型森林づくり」、「みんなで森林づくり」、「野幌森林づくり塾」）を行っています。

そのほか、様々な機関等からの要請に応え、協力しながら支援活動を行っています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、予定していたイベント等のほとんどが中止になりました。

## 札幌水源の森づくり

札幌市の「水源の森」である定山溪国有林は、市民約190万人の生活を支える水道水の源として、おいしい水を育む重要な役割を果たしている森林です。これまで、札幌市やボランティア団体等と連携して「札幌水源の森づくり」を開催し「水源の森」に植える植栽用苗木の作製や、ボランティア団体・協力機関と現地植栽を行ってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、札幌市内で予定していた市民参加による植栽用苗木（カミネッコ活用）づくり「札幌水源の森づくり2020」は中止になりましたが、これまでに植栽した「水源の森」の下刈りは「北方創森塾」と当センター職員で実施しました。

### 令和2年6月22日（月）水源の森の下刈作業

これまで「札幌水源の森づくり」に参加した皆さんが作成した苗木は、定山溪の水源の森（定山溪ダム上流の国有林）に植栽しています。

また、植栽後の手入れとして、石狩森林管理署と協定を結んでいる「北方創森塾」と連携して下刈りを実施しました。





## 〈昨年度開催の様様〉

令和元年8月に開催された「札幌水源の森づくり2019」



令和元年9月に開催された苗木の植栽



## 地域のもりから学ぶ森林づくり

定山溪国有林において、地域に根ざした取り組みとして、札幌市立定山溪小学校・中学校と「地域のもりから学ぶ森林づくり」を実施してきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う授業時間の確保の観点から、小学校・中学校の児童・生徒を対象とした森林教室は開催できませんでした。

来年度の活動再会に向け、定山溪中学校が森林教育のフィールドにしている「夢の森」の整備として、枯れたニセアカシアの伐倒処理やシイタケほだ木の伏せ込み等を当センター職員で行いました。



また、定山溪中学校、NPO団体等の活動を紹介する「森づくり活動発表会」は、昨年度に続き、今年度も開催することができませんでした。

## 〈昨年度開催の様様〉

### 令和元年度実施の森林教室



小学校・中学校合同で環境保全活動



植栽用苗木の完成

## 野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクト

平成16年9月の台風18号により、被害を受けた野幌の森林を「100年前の原始性が感じられる自然林」を目指した森林づくり「野幌森林再生プロジェクト」を策定し、平成17年度から各種取り組みを実施しています。ここでは、野幌の豊かな自然のすばらしさ、森林に関する理解の醸成等、NPO団体等と協働による森林づくりに取り組んでいます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ほとんどのイベントが中止になりました。また、9月の開催に向けて準備を進めていたイベントは、降雨により中止になりました。

### 団体型の森林づくり

石狩森林管理署と協定を締結しているNPO団体、大学、企業等が風倒被害跡地に植栽し、その後の保育や生長調査等を継続的に取り組んでいます。

また、団体等の皆さんによる、下草刈り等の現地作業を支援しています。

今年度は6月に下刈り、8月に植栽木の生長調査等が実施されました。



参考 平成30年度の実施状況



## 令和2年度 野幌森林再生活動連絡会

例年、「団体型森林づくり」として、石狩森林管理署と協定を締結しているNPO団体等と石狩森林管理署、野幌森林公園を管理している北海道博物館、公園内の道有林を管理している空知総合振興局森林室が出席して活動連絡会を北海道森林管理局で開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、各団体等が集まったの活動連絡会は中止し、各団体等より今年度の活動実施報告と来年度の活動予定について、メール等で報告をいただきました。



参考 令和元年度開催

## みんなで森林づくり

個人や団体等、幅広い層から参加していただき、風倒被害跡地に植栽した箇所の下刈作業に取り組んでいます。



参考 平成30年度の実施状況

例年、北海道博物館近くの国有林で実施している『よみがえれ！「野幌の森」』は、公募で募った皆さんと、NPO法人北広島森林ボランティア・メイプルの安全指導の下で、下刈作業を実施する予定でしたが、昨年度の高マ出沒による中止に続き、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になりました。

## 野幌森林づくり塾

森林づくりに関する知識の習得と森林づくり体験をしながら森林と人とのかかわり等についての理解を深め、将来的には自主的なボランティア活動の展開につながることを期待した森林づくり塾を開催しています。

今年度は、6月に外来種（オオハンゴンソウ）の除去作業、2月に伐採現場の見学等を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止になりました。

また、9月18日（金）に開催することとしていた「森林づくりを体験しよう！」は、当日の降雨により中止になりました。



参考 平成29年度実の実施状況

## イベント、森林環境教育、トピックなど

石狩地域森林ふれあい推進センターでは、北海道森林管理局のイベント等への協力、インターンシップの受け入れ、石狩森林管理署の森林教室等への協力・支援を行っています。

また、関係機関や試験研究機関、ボランティア団体への協力等も行っています。

### インターンシップ 令和2年9月15日（火）～ 17日（木）

北海道森林管理局では、学生の就業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として、インターンシップを実施しています。

今年度は1名を石狩森林管理署と当センターで受け入れ、署とふれあいセンターで行っている野生動物調査、生産、治山、森林ふれあい、試験地調査等、幅広い分野の業務を体験していただきました。

学生は熱心に説明を聞き、実際に現場業務を体験する等、森林管理局の業務内容に興味を持ったようです。



ドローンを使って上空からの現地確認



野生動物調査の自動撮影カメラ設置



現場から戻って、報告書の整理



## 札幌市立澄川中学校 出前授業（1回目）令和2年9月4日（金）

北海道森林管理局では、地域の学校等からの森林環境教育等の依頼にも、積極的に対応しています。

今年度は、札幌市立澄川中学校より、都市近郊林の樹種の種類や見分け方について、学校近くの緑地で実施しました。

前段、森林管理局企画課係長から、紙芝居「シントローのぼうけん」を使って、森林の仕組みや生きもの同士のつながりについて勉強した後、近くの澄川北緑地に移動しました。

緑地では、当センター職員より、公園樹木の種類等について説明した後、生徒各自が選んだ樹木の幹をデッサンしました。

各自、思い思いに樹木の特徴を捉えて描いていました。



局企画係長による講義風景



当センター職員による都市近郊林の説明



快晴の天気の下、木陰に入ってデッサン中



## 札幌市立澄川中学校 出前授業（2回目）

令和3年2月22日に生徒各自が作成した「樹木チェック表」の発表会と澄川北緑地でのスノーシュー体験を予定していた2回目の出前授業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になりました。



..... **〈生徒が作成した「樹木チェック表」〉** .....



.....

今回の出前授業を通して、北海道の森林の未来を担う子供達に森林の必要性を肌で感じてもらい、国有林の新たな応援団になってもらえたらうれしいです。



## ワークショップを開催

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各種イベント等が中止になりました。このような状況の中でしたが、森林管理局や森林管理署の若手職員を対象にしたワークショップを10月20・21日に開催しました。

初日は、野幌森林公園内を散策しながら、樹種の見分け方やその特性等について、森林教室等での活用を想定したプログラムを行いました。

前半、何種類かの樹種の葉を配り、葉から樹種名を当てるといったことから、樹種の見分け方等、森林教室を想定した林内散策を行い、後半は、トドマツ造林地に移動し、一般参加者のイベントを想定した森林の整備等について講義を行いました。秋晴れの清々しい天気の下で、参加職員みなさん、熱心に話しに聞き入っていました。

2日目は、森林管理局内会議室において、森林ふれあいイベントの企画立案を体験してもらいました。

参加した若手職員からは、「今後の森林ふれあい活動の参考にしたい。」等の意見がありました。

今年度は、新型コロナウイルスに振り回された1年になってしまいましたが、こういった時期だからこそ出来るプログラムを続けていきたいです。



林内散策の様子



林内作業の様子



センター所長からの講話



模擬イベントの企画立案の様子

## 平成30年台風21号風倒被害木箇所の整理始まる

平成30年9月に発生した台風21号による強風により、野幌森林公園では大量の風倒木被害が発生しました。

当時、石狩森林管理署の迅速な対応により、林道の風倒木処理は完了しましたが、林内の風倒木の処理等が残った状態となっていました。昨年12月より、この残っていた風倒被害木の整理と林内からの搬出を行いました。

風倒木の処理が終わった跡地については、引き続き植栽等を予定しています。

今後、当センターでは、この跡地の一部を利用して、新たな森林再生に向けたイベント等を計画することとしています。



台風直後被害状況①



台風直後の被害状況②



林業機械による風倒木の処理作業



集積された風倒木



## 原木シイタケ栽培に挑戦！

今年度6月から、原木シイタケの栽培にチャレンジしています。

原木にはミズナラを使用し、等間隔にドリルで穴を開け（1本あたり約20穴）、そこに駒菌と呼ばれるしいたけの菌糸を培養した駒を穴に打ち込んでいきます。

その後、たっぷりの水に浸し、後日山へ移動し、乾燥しないように注意しながら養生させ、大切に育てています。

今年度中の収穫にはなりませんでしたが、来年度は、札幌市立定山溪小学校・中学校の児童・生徒といっしょに育てることとしており、立派なシイタケが収穫できることを楽しみにしています。



6月10日 作業初日



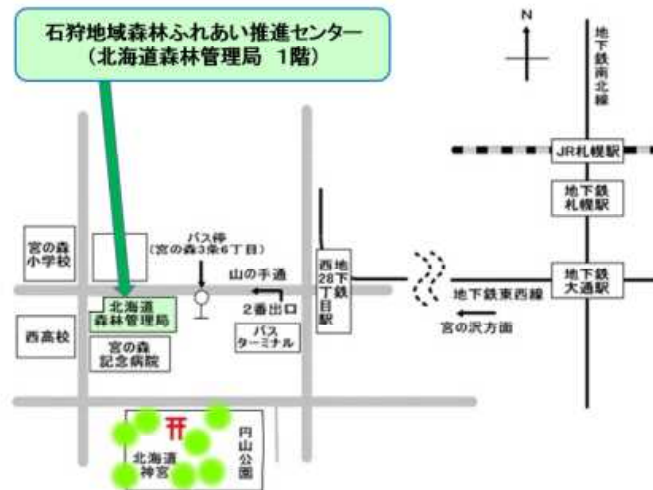
7月10日 林内で養生



10月29日 交互に組み上げ

---

## 案内図



お問い合わせはこちらまで

---

林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林ふれあい推進センター  
064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番  
TEL 011-622-5114 FAX 011-805-0201  
ホームページ [http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/)  
E-mail [h\\_ishikari\\_f@maff.go.jp](mailto:h_ishikari_f@maff.go.jp)